

# 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は北海道労働金庫に対しまして、ひとかたならぬご高配をたまわり厚く御礼申し上げます。

私ども北海道労働金庫では、「長期ビジョン(～2024年度)」および「中期経営計画(2022～2024年度)」のもと、会員・地域・利用者とのつながりによる「しあわせの循環」の創造をめざし、ろうきんの理念に通ずる「共生社会の実現」と「健全経営の維持」をコアバリュー(=核とする価値観)に据えた取組みを展開し事業運営に励んでまいりました。

また、2025年度からはじまる次期長期ビジョンおよび次期中期経営計画について、今後の「労金運動・事業のあり方」、「労金の業務・推進スタイル」を検討し、会員の皆様よりご意見等を頂戴しながら策定を進めております。

ろうきんは、理念において共生できる社会の実現に寄与することを目的としております。「共生社会の実現」に資する取組みを推進することは、SDGsの掲げる「持続可能な社会の実現」につながる道であり、「人と人、人と地域をつなぐ」、その「つなぐ」環の中で、当金庫は確かな役割を果たしながら、引き続き事業運営に取り組んでまいります。

当金庫ご利用のお客様をはじめ、道民の皆様の益々のご発展を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2025年 元旦

北海道労働金庫  
理事長 杉山 元